

2023年11月2日（木）～3日（文化の日）

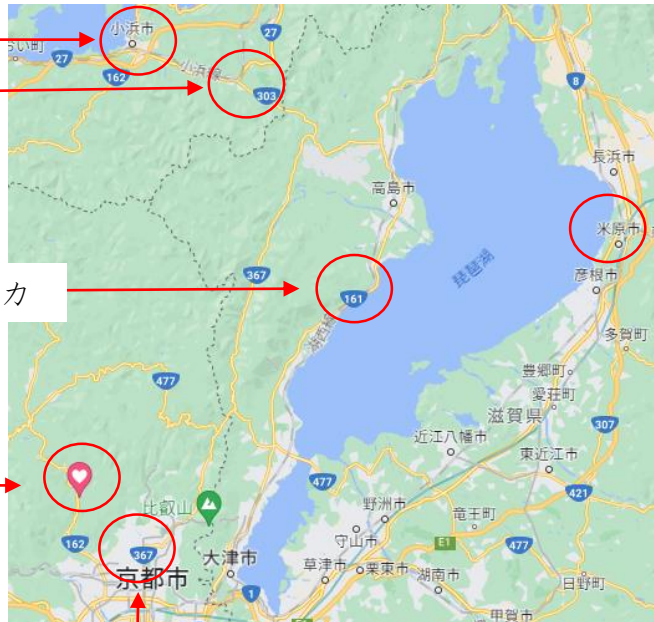
平安京に供給された銘木と伝統的建造物群
京都北山杉と鯖街道熊川宿



鯖街道起点 小浜
 鯖街道熊川宿

ホテル琵琶レイクオーツカ

北山杉の里



解散地点
 米原駅

集合地点

京都府立府民ホール アルティ

京都北山地方は、京都市町の西北20～30kmのところの位置し、磨丸太林業地帯として特色があります。現在の京都市北区中川を中心とした地域は、江戸期以前より、一説には南北朝時代から磨丸太を生産していたと言われていています。現在、北山地方の年間磨丸太は約10万本（製品3メートル材換算）と推定されます。

熊川宿は若狭と京都をつなぐ「鯖街道」にある宿場町です。谷間を流れる北川に沿って発生した集落で、馬や船が荷運び込める荷次場として発展を遂げました。今も残る江戸期に形成された町並みは、1996年に重要伝統的建造物群保存地区に選定され、2015年に「御食国若狭と鯖街道」として日本遺産第一号に認定されています。

11/2

京都府旧知事公館
茶室と庭園(集合)

北山杉産地見学
台杉・中川八幡宮・麵どころ

ホテル(近江舞子)

11/3

ホテル(近江舞子)

鯖街道熊川宿

おばま
食文化館

米原駅
(解散)



・京都府旧知事公館の茶室

中源株式会社の中田社長にご足労いただき、茶室と日本庭園を見学しました。床柱はもとより、垂木も北山杉の磨き丸太が使用されています。京都市林業振興課の三井係長・埜村さま 京都府からは林業振興課鹿野参事、京都林務事務所の片岡主任が参加されました。



・北山の中川地区にある巨大台杉

樹齢推定400年の巨大な台杉があります。北山の林業者達は気の遠くなるような時間と手間を掛けて、傾斜地でも通直な杉を求め品種改良に取り組みました。



・中川八幡宮にある北山杉の母樹

推定樹齢600年という巨木です。樹高60mにもなるのに真っ直ぐ北山杉は、この母樹から挿し木して広まったと言われています。



・中源株式会社の中田社長にお世話頂きました

磨き丸太の磨き体験後ひと休み、中田社長には茶室から北山杉まで余すところなく、巧みなトークで楽しませてもらいました。



・鯖街道熊川宿

日本遺産認定第一号、伝統的建造物群の宿場町はバイパスがトンネルとなったため江戸時代の町並みが残りました。ガイドさんが丁寧な説明をしてくれます。道幅の広さからも往時の繁栄が判ります。京都に小浜から文物を運び、京都からは多彩な文化が伝わりました。都と日本海を結ぶ重要な物流拠点です。



・熊川宿で古民家リノベ現場を発見

今回は運よくリノベ工事中の現場を発見。ガイドさん放置のまま興味津々で覗き込み、現場の棟梁に次々と質問する参加者。我々が訪れた翌週の「プラタモリ」で鯖街道が放映されビックリ混雑する前に行けて良かったです。

今回の参加者は10名。京都のオーパーツーリズムが話題になっていたもので、地下鉄、タクシー、JR、貸切バスと多彩な交通手段を使用しました。